



平成26年4月1日

各位

会社名 株式会社大泉製作所
代表者 代表取締役社長 久保田 達夫
(コード番号:6618 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理本部長 竹内 章
(TEL. 03-5297-6493)

岩手大学との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、国立大学法人岩手大学との共同研究契約を本日締結しましたのでお知らせします。本契約は、当社と山口明准教授(岩手大学工学部マテリアル工学科及び大学院工学研究科)の研究室との、新サーミスタ(※)材料の共同研究に関するものです。

※Thermistor=熱に感じやすい抵抗体を Thermally Sensitive Resistor といい、これを一まとめにした言葉です。

記

1. 契約締結の経緯および概要

当社は、自動車向けおよびエアコン・冷蔵庫等の家電製品向け温度センサのリーディングカンパニーです。温度センサのセラミック抵抗体であるサーミスタの特性要求は、アプリケーションによって使用する温度範囲が異なる事から、出力と温度係数の組合せは多種多様となります。当社では、使用環境に対する耐久性を重視し、新しい素材の組合せでバリエーションを拡大してきました。

今回の岩手大学との共同研究は、短期間で量産化可能な技術を確立し、少量多品種の生産性を大幅に改善することを目的としております。この技術により、従来からの高品質、高耐久性は損なわず、機器や回路で使用する周辺部品の省スペース化や小型化かつ高応答性も見込めることから、ユーザーのニーズへより近づいた商品開発に貢献できるものと考えております。

山口明准教授は、岩手大学工学部マテリアル工学科および大学院工学研究科で、人工格子等の超構造を有する物質の研究を専門分野とし、全く新しい金属やセラミックス、それらを複合させた薄膜等を作製し、その構造や性質に関する研究を行っています。特にこれまで全く想像できなかったナノ構造の組織を有する薄膜を創製すること、その薄膜に新しい機能を持たせたりするなどに果敢に挑戦しています。具体的には新たな水素透過薄膜、それを用いた透明度が変化する窓材料、高い感度と安定性を有する水素センサー、エコ材料全般の研究などがあります。

2. 今後の見通し

本件による当社の平成27年3月期連結業績に与える影響はありません。

以上